

『三国志』の世界

(時代背景)

群雄割拠の乱世が始まった二世紀末から、あまたの英雄豪傑たちが、持てる力を発揮して激しく戦い、やがて曹操の魏、劉備の蜀、孫権の呉の三国分立状況を経て、ついに三国が全滅する三世紀末まで、およそ一〇〇年にわたる疾風怒濤の時代を描いたものである。

〈そのころの日本・邪馬台国、卑弥呼の時代〉

(二)の『三国志』)

① 『三国志』(歴史書) 陳寿(二三三・二九七)

(ちくま学芸文庫 全八冊)

② 『三国志演義』(歴史小説) 羅貫中(生没年不詳。十四世紀中頃の人)

(『三国志演義』の訳本)

① 『三国志』 (岩波文庫 全八冊 小川環樹 他訳)

② 『三国志演義』(ちくま文庫 全七冊 井波律子訳)

.....

③ 『三国志通俗演義』(岩波書店 小川環樹・武部利男訳)

(あらすじ)

● 一八四年 「黄巾の乱」

董卓の専横

・反董卓連合軍

● 曹操、華北の覇者に

曹操(一五五・二二〇)

「乱世の能臣、乱世の姦雄」

● 劉備、処々を転変す

劉備(二六一・二三三)

「桃園結義」 関羽

張飛

趙雲

・「髀肉の嘆」

・「三顧の礼」

・「水魚の交わり」

● 二〇八年 赤壁の戦い

● 三国分立

● 第一世代の退場

● 孔明の北伐

「泣いて馬謖を斬る」

「死せる孔明生ける仲達を走らす」

中国文化史年表

人名および人名(書名)の下の数字は没年を示す。
*は日本の事項を示す。

西暦	時代	事項	人名・書名
1777	伝説時代	武王、紂を討ち、殷を滅ぼす	三皇(伏羲・神農・女媧)五帝(黄帝・颯瑣・帝嚳・堯・舜)
1122	殷(商)	周公、摂政となる	湯(殷の始祖) 桀(夏最後の王) 禹(夏の始祖)
771	西周	平王、都を洛陽に移す	紂(殷の最後の王) 文王・武王 伯夷・叔齊 周公(武王の弟)
651	東周	齊の桓公、覇者となる	管仲(管子)(春秋)
551	(春秋時代)	孔子、魯の大司寇となる	孫武(孫子) 老聃(老子) 顔回(回) 子路(路) 孔子(詩経・春秋)
475	(戦国時代)	趙の昭襄王、覇者となる	墨翟(墨子) 子思(中庸) 墨翟(墨子)
368	秦	始皇帝、天下統一	列禦寇(列子) 蘇秦(三才) 張儀(三才)
221	漢	漢高祖、漢を興す	項羽(羽) 韓信(信) 高祖(劉邦)
191	前漢	光武帝、漢を再興	武帝(劉徹) 司馬遷(史記) 司馬遷(史記)
100	新	光武帝、漢を再興	劉向(戦国策) 説苑

文化

西暦	時代	事項	人名・書名
551	後漢	曹操、大將軍となり、政權を握る	班固(漢書) 張衡(西京東京の賦)
475	北魏	孝文帝、都を洛陽に移す	班固(漢書) 張衡(西京東京の賦)
405	西晋	五胡十六国の乱	曹植(魏都賦) 劉勰(文心雕龍)
368	東晋	王羲之、草書を創る	曹植(魏都賦) 劉勰(文心雕龍)
221	南朝	謝靈運、山水詩を創る	曹植(魏都賦) 劉勰(文心雕龍)
191	北朝	楊堅、隋を建て、北を統一	曹植(魏都賦) 劉勰(文心雕龍)
100	唐	太宗、貞観の治	曹植(魏都賦) 劉勰(文心雕龍)
618	五代	趙匡胤、即位	曹植(魏都賦) 劉勰(文心雕龍)
551	宋	王安石、新法を施行	曹植(魏都賦) 劉勰(文心雕龍)
475	北	班超、西域を討つ	曹植(魏都賦) 劉勰(文心雕龍)

文化

西暦	時代	事項	人名・書名
1911	清	辛亥革命	孫文(孫逸仙)
1912	中華民國	孫文、臨時大總統	孫文(孫逸仙)
1949	中華人民共和國	毛沢東、中華人民共和國政府	毛沢東
1911	清	辛亥革命	孫文(孫逸仙)
1912	中華民國	孫文、臨時大總統	孫文(孫逸仙)
1949	中華人民共和國	毛沢東、中華人民共和國政府	毛沢東
1911	清	辛亥革命	孫文(孫逸仙)
1912	中華民國	孫文、臨時大總統	孫文(孫逸仙)
1949	中華人民共和國	毛沢東、中華人民共和國政府	毛沢東

